

◎礼拝説教：2020年7月19日
◎説教者：中村準一 牧師
◎タイトル：罪の系譜
◎今日の聖書：出エジプト 1章8—22節

8そのころ、ヨセフのことを知らない新しい王が出てエジプトを支配し、
9国民に警告した。

「イスラエル人という民は、今や、我々にとってあまりに数多く、強力になりすぎた。
10抜かりなく取り扱い、これ以上の増加を食い止めよう。一度戦争が起これば、敵側に
付いて我々と戦い、この国を取るかもしれない。」

11エジプト人はそこで、イスラエルの人々の上に強制労働の監督を置き、重労働を課して
虐待した。イスラエルの人々はファラオの物資貯蔵の町、ピトムとラメセスを建設した。

12しかし、虐待されればされるほど彼らは増え広がったので、エジプト人はますますイ
スラエルの人々を嫌悪し、

13イスラエルの人々を酷使し、

14粘土こね、れんが焼き、あらゆる農作業などの重労働によって彼らの生活を脅かし
た。彼らが従事した労働はいずれも過酷を極めた。

男児殺害の命令

15エジプト王は二人のヘブライ人の助産婦に命じた。一人はシフラといい、もう一人は
プアといった。

16「お前たちがヘブライ人の女の出産を助けるときには、子供の性別を確かめ、男の子
ならば殺し、女の子ならば生かしておけ。」

17助産婦はいずれも神を畏れていたため、エジプト王が命じたとおりにせず、男の子も
生かしておいた。

18エジプト王は彼女たちを呼びつけて問いただした。「どうしてこのようなことをした
のだ。お前たちは男の子を生かしているではないか。」

19助産婦はファラオに答えた。「ヘブライ人の女はエジプト人の女性とは違います。彼女
たちは丈夫で、助産婦が行く前に産んでしまうのです。」

20神はこの助産婦たちに恵みを与えられた。民は数を増し、甚だ強くなった。

21助産婦たちは神を畏れていたため、神は彼女たちにも子宝を恵まれた。

22ファラオは全国民に命じた。「生まれた男の子は、一人残らずナイル川にほうり込
め。女の子は皆、生かしておけ。」

◎宣教

イスラエル民族は、アブラハムから始まり、イサク、ヤコブ、12人の兄弟たちへと進み
ましたが、最後はエジプトの地に移住して、神によって祝福されました。その時代は、イ
スラエル民族とエジプト人は、仲が良い民族でした。ところが、彼らが死んで約400年
後、新しく生まれたエジプト王たちは、イスラエル民族に対して敵対行動をとるようにな
りました。どうして、このようになったのでしょうか。この世を支配したサタンは、天地

を創造した唯一の神を憎んでいて、神の民であるイスラエル民族を滅ぼすことを計画したのでした。エジプト以後の古代世界の大帝國は、アッシリヤ、バビロン、ペルシャ、ギリシャ、ローマですが、それら国々はすべて、イスラエル民族を滅ぼそうとしたのでした。アダムが、食べることを禁じられた木の実を食したことによって、人類の中には、神に従いたくないという願望が根付いたのでした。この事は、キリスト教国でも、非キリスト教国でも同じです。人々は、神様を敵として生きていて、神様に喜ばれない自分の欲望を追求しているのです。私たちも以前は、神様に背を向けて、神様に喜ばれない生活を送っていたのでした。しかし、今は、キリストの贖いによって、神様を信じる者へと変えられ、神様に喜ばれる生活を送る者となったのです。そのことを感謝しましょう。神様は、信仰をもって、教会生活を送る者たちに、大きな祝福と永遠の命と尽きることのない喜びを与えて下さいます。どうぞ、誠実に神様に仕えていきましょう。